

新潟市マンガ・アニメ情報館

新潟市マンガの家

令和7年度 指定管理業務報告書

- 1 両館運営総括
- 2 両館施設管理
- 3 マンガ・アニメ情報館
- 4 マンガの家
- 5 施設間連携 アウトリーチ
- 6 広報活動
- 7 新しい施設利用への取り組み
- 8 自主事業利益金の運営費への充当
- 9 その他

新潟市マンガ・アニメ情報館 新潟市マンガの家 指定管理者
にいがたアニメ・マンガプロジェクト共同体
代表法人 学校法人国際総合学園

1. 両館運営総括

運営重点項目	① 1年を通して開館し、市民サービスの向上に努める。 ② 両館合計利用者数 50,000 人以上を達成する。 ③ 清潔で安全な施設運営を尽くす。 ④ 新しい施設利用の可能性を追求する。 ⑤ 地域と密着した企画、イベントの開催を通し広く新潟市民に親しまれ利用される施設となる。
--------	---

R7 年度も引き続きインバウンドや物価高対策などへの対応、両施設の更なる有効活用、アウトリーチ活動などで新たなチャレンジを続け成果を出してきた。入館人数においては 10 月の段階で年間目標を超えるなど予想を上回る好結果となった。これは情報館の年度前半の企画展が好調だったことと、マンガの家の入館状況が平均して安定した数字を確保していたことによるものと考えている。情報館においては 7 本の企画展を開催。うち新潟ゆかり作家のものを 3 本開催したことにより、施設のコンセプトを大いに体现できたと感じている。企画展の実行委員会では新たなパートナー企業にも参画していただき今後に関係性も構築できた。

また、好調な入館人数と共に自主事業収入も好調だったため、高騰する物価、増える運営経費に対してこれを惜しみなく投入することができた。安定した運営と新しい取り組みへの推進に対して安定した収入の確保は今後も大きなテーマになる。

マンガの家では長く続けてきたアウトリーチ活動の成果として、オリジナル展示「RENGA 展」を企画。アウトリーチ先の 2 つの小学校の生徒たちを遠隔で交流させ互いに作品制作をしてもらうというユニークな発表の場を提供した。創造の楽しさと交流する喜びをつなげることで同分野の新しい価値を学校、地域に提供できたことは大きな成果と自負している。

両館入館状況	新潟市マンガ・アニメ情報館	50,006 人
	新潟市マンガの家	24,316 人
	両館合計	74,322 人 (2 館合計目標 50,000 人に対し 148.6%)

2. 両館施設管理

施設管理については下記の点に重点を置き必要なものを適宜実施した。

- ・ 感染対策や施設環境の美化の徹底。
- ・ 光熱費高騰、環境保護への対応を強化し徹底した節電・節約を常態化する。
- ・ 老朽化した箇所や機器のメンテナンスや交換、代替。
- ・ 経費削減、コスト管理をスタッフ全員で強く意識し運営にあたる。
- ・ 海外客対応の強化。案内、POP 等の多言語化推進。

上記のうち、光熱費については前年度からの機器交換や徹底した節電・節約を通して昨年度に比べ 1 割強の経費削減に成功した。また、情報館においては、下記のような開館以来初となる大規模改修が実施され、床面積をより有効に活用できるようになった。

実施名	内 容
【情報館】常設展エリア 「声優になってみよう」 仕様変更	システムを再構築し、アニメーション、PCなどの新規入替を実施。より幅広い年代の方が利用しやすいコンテンツとなり、海外客対応として英語字幕での体験もできるようになった。
【情報館】 使用していない既存什器、 壁の撤去	老朽化のため稼働していなかったコンテンツ機器など館内3か所について設備、家具、壁の撤去工事を実施。撤去部分は増床部分と捉え、企画展の壁設計時の自由度が増し、通路なども広く確保できるようになった。

3. マンガ・アニメ情報館

(1) 常設展

①ピックアップコーナー

・地域ゆかりの情報を発信するスペースとして、常に新鮮な情報を展開することに注力。地元作家出版情報や地元マンガ・アニメ関連情報を適宜掲示した。

新潟在住マンガ家仲曾良ハミ先生出版情報掲示
新潟在住マンガ家はやしわか先生複製原稿展示 出版情報掲示
新潟在住マンガ家 MIDORI 先生出版情報展示
新潟出身マンガ家中吉虎吉先生原作アニメ化 PR 展示
情報館、家が登録されている「アニメ聖地 88 か所」の認定書や記念スタンプなどを展示
新潟国際アニメーション映画祭アピールブース設置
新潟を舞台にしたマンガ「りゅうとあまがみ」複製原画展示
過去開催企画展ポスター展示
来館作家サイン展示
新潟コンピュータ専門学校コラボ商品展開説明展示
高橋留美子×加島屋コラボ商品サンプル展示

②入館者数

月	有料	無料	合計	備考
4	356	56	412	
5	714	171	885	
6	296	25	321	
7	505	84	589	
8	979	99	1,078	
9	650	84	734	
10	624	99	723	
11	531	366	897	11/3 常設展示室無料開放（文化の日）
12	874	80	954	
1	626	121	747	
2	706	187	893	2/11～2/15 開志専門職大学アニメ・マンガ学部卒業展覧会 2025 開催
3	633	103	736	
合計	7,494	1,475	8,969	※前年比 112.9%

(2) 企画展

入館者数

No.	企画展名	開催期間	開催 日数	有料 人数	無料 人数	合計 人数
1	TV アニメ「うる星やつら」展	2025 年 4 月 5 日 ～5 月 6 日	32	2,678	941	3,619
	(主催) TV アニメうる星やつら展新潟実行委員会 (新潟市/NS T)					
	新潟出身マンガ家高橋留美子デビュー連載作品の再アニメ化をテーマにした展示。個性的なキャラクターと場面写、主人公ラムちゃんの等身大立像などの内容。また、高橋先生から新潟開催についてコメントをいただいたものをパネル化して展示。主人公ラムちゃんの声優上坂すみれさんからの色紙も展示し、新潟ゆかりのアピールを独自に行った。来場者の年齢層は 40 代以上の男女が中心。令和の再アニメ化により同作を知った子供たちも多く見受けられ、親子で楽しめる展覧会となった。					
2	(関連イベント)					
	・新潟限定ビジュアルチケット 展覧会のために描き下ろされたキャラクターを使用したビジュアルチケットを有料入館者のみ全 7 種からランダムで 1 枚配布した。					
	・新潟限定ノベルティ ポストカード 会期中に入場券半券を市内 3 か所 (マンガの家、はり糸、佐藤菓子店) のポイントでご提示いただいた方に、新潟会場オリジナルポストカードをプレゼントした。					
3	TV アニメ「薬屋のひとりごと」展	2025 年 5 月 23 日 ～6 月 15 日	24	11,206	2,420	13,626
	(主催) TV アニメ薬屋のひとりごと展新潟実行委員会 (新潟市/TeNY テレビ新潟)					
	現行の大ヒット作『薬屋のひとりごと』の TV アニメを特集した展示。作品のストーリーやキャラクターを追いつながり、アニメの制作工程も詳しく展示し、アニメスタッフのこだわりがしっかりと伝わる展示内容だった。初日から想定以上の幅広い年齢層の来場となり、館周辺は連日大いに賑わった。特に平日は 60 代以上のご夫婦などの来場も多く、このジャンルとしては異例の人気を得ている作品であることを実感。同時に広い年齢層の来館により館の存在認知に大きく寄与する機会となった。					
4	WIND BREAKER 展	2025 年 6 月 21 日 ～7 月 27 日	37	4,908	565	5,473
	(主催) WIND BREAKER 展新潟実行委員会 (新潟市/BSN 新潟放送)					
	マンガ・アニメ・2.5 次元舞台に展開される同作品初の展示会。2022 年連載開始という若い作品ということもあり、20 代を中心とした女性層が多く来場した。展示内容は迫力ある漫画原稿とアニメ場面写が対比された展示方法になっており作品の世界観を存分に味わえる内容。キャラクターのコスチュームを実際にお客様が着用できるコーナーや大画面での名場面上映などファンの満足度は非常に高い内容だった。					
4	怪獣 8 号展	2025 年 8 月 2 日 ～9 月 15 日	45	4,468	803	5,271
	(主催) 怪獣 8 号展新潟実行委員会 (新潟市/BSN 新潟放送)					

	マンガ・アニメで展開され一般認知度の高い作品でもあり、家族連れなど幅広い年齢層の来館を得た。マンガ原画と迫力あるキャラクター立像、毎日変わる入場特典や曜日ごとのイベントなどが用意され、立体的に楽しめる内容。新潟会期が巡回最終地、アニメの放送期間中、そしてマンガ連載の完結など会期中のトピックが多かったことも注目を得る良いタイミングでの開催だった。作品が韓国での人気が高いというデータがあったため、施設としては初めて海外（ソウル）への SNS 広報を展開。結果、クリック率が国内より高い結果となり、韓国の方の入場も多く見かけることができた。世界標準のメディアとなった同ジャンルの広報について大いに参考となった。					
	創刊 50 周年記念 花とゆめ展 in 新潟	2025 年 9 月 21 日 ～11 月 3 日	44	2,414	416	2,830
5	(主催) 花とゆめ展新潟実行委員会 (新潟市/N S T新潟総合テレビ/株式会社ライブポート/中央イベントリース株式会社/愛宕商事株式会社) 同誌の創刊 50 年を記念した内容でもあり、大人の女性を中心に集客できた。50 年の歴史を感じさせる貴重な原稿を預かることになり、より緊張感を持って運営にあたった。展示には本市出身の魔夜峰央氏の原画やキャラクター立像が置かれた「パタリロ」コーナーや、新潟出身の水森暦先生の生原画も展示されるなど、ゆかり作家展としても当館にとって大変意義のある開催となった。実行委員会には 2 つの企業様に初の参画をいただきパートナーの実績を広げることができた。					
	『劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦』展	2025 年 11 月 8 日 ～12 月 1 日	24	6,176	983	7,159
6	(主催) ハイキュー!!展新潟実行委員会 (新潟市/BSN 新潟放送) 国内外で長い人気を誇る作品『ハイキュー!!』。その映画版『ゴミ捨て場の決戦』の展覧会を 8 日から開催した。おなじみの作品ということもあり連日年齢を問わず多くの来場者を得ることができた。特に平日は主婦層の来場も多く、作品の支持層の広さを感じた。会場は施設向かいのエリアを借りた「第 2 会場」を用意。東京会場と同等の広さを確保。特にバレーコート 1 面をそのまま設置したフォトスポットは圧巻で来場者の喜ぶ声が多く聞けた。同作の制作は新潟にもスタジオがある「プロダクション I.G」によるもの。地元ゆかりの作品展としてもアピールできた。					
	ヒカルの碁 原画展	2026 年 2 月 28 日 ～3 月 22 日	23	2,870	189	3,059
7	主催：ヒカルの碁 原画展 新潟実行委員会 (新潟市/ムービック) 新潟市出身作家小畑健氏の『ヒカルの碁原画展』を約 3 週間にわたって開催。ストーリーを追うように貴重な肉筆生原画を多数展示。美しい原稿を前にお客様が食い入るようにご覧になる姿が印象的だった。同氏の作品は海外での人気も高く、海外からのお客様も多く来館した。さらに展覧会オリジナルグッズを大量購入する海外客も多く物販の売上も好調だった。					
企画展 合計			229	34,720	6,317	41,037

(3) その他イベント

開催日	イベント名	参加人数
2025 年 12 月 18 日 ～ 2026 年 1 月 20 日	明治時代の新潟を舞台にしたマンガ「リゅうとあまがみ」の 1 巻発売に合わせたご当地キャンペーンを情報館外周エリアで実施。作中に出てくるセリフ「新潟なんか大嫌い！」にちなんで「新潟の嫌いなところを教えてください」ボードを設置。お客様に自由にコメントを書いていただく内容。ネガティブキャンペーンを逆手にとった取り組みが注目されメディア各所で取り上げられた。	参加コメント約 200 点

4. マンガの家

(1) 入館者数

月	2024 年度		2025 年度		前年比較	
	入館数	WS 参加数	入館数	WS 参加数	入館数	WS 参加数
4	2,620	534	2,019	347	▲ 601	▲ 187
5	2,558	584	2,590	518	32	▲ 66
6	2,175	459	1,893	332	▲ 282	▲ 127
7	2,415	534	2,042	356	▲ 373	▲ 178
8	2,917	751	3,095	998	178	247
9	2,044	318	2,027	322	▲ 17	4
10	2,268	355	2,146	371	▲ 122	16
11	2,041	314	2,034	382	▲ 7	68
12	1,218	375	1,423	270	205	▲ 105
1	1,254	382	1,248	248	▲ 6	▲ 134
2	1,494	399	1,674	356	180	▲ 43
3	2,061	526	2,125	385	64	▲ 141
合計	25,065	5,531	24,316	4,885	▲ 749	▲ 646

※WS…ワークショップ

(2) 購入したマンガ本

本年度は下記のマンガ本を蔵書に加えた。

作家名	タイトル	巻数
しげの秀一	MF ゴースト	7～23(完結)
にいさとる	WIND BREAKER	1～3
晴川シンタ	百瀬アキラの初恋破綻中。	1
倉田三ノ路	薬屋のひとりごと～猫猫の後宮謎解き手帳	1

※既存の蔵書の抜けている巻の補充の他、新潟ゆかりの作家の作品や両館で開催した企画展の作品を購入している。

他、蔵書を活用した「おススメ本棚コーナー」を下記のように設置した。

Welcome 新潟「異文化コミュニケーションを楽しむ」マンガ特集
干支にちなんだ「これを読めばウマくいく」マンガ特集
新潟在住マンガ家最新刊特集

(3) 企画展

No.	企画展名	開催期間	開催 日数	期間中 入館人数
1	根岸小学校×南万代小学校「RENGA」展	2025 年 12 月 18 日 ～ 2026 年 2 月 3 日	36	2,031
	当館が日頃取り組んでいるアウトリーチ活動を展示という形に昇華させたオリジナル企画展。「RENGA」とは、上の句と下の句を 2 人で応答して詠む、奈良時代に原型が出来た詩歌の形式「連歌(れんが)」になぞらえたもの。両小学校イラストクラブの子供たちに、この文化的で伝統的な制作方法にて交流してもらう目的もある。お互いの生徒から出されたテーマに答えて生徒たちが作品を制作。その指導、アドバイスを当館が行い、完成した作品を展示した。 各校の先生方にもご協力をいただき、本活動への関係構築という面でも大きな成果となった。			
合 計			36	2,031

(4) にいがたマンガ大賞作品展

No.	作品展名	開催期間	開催 日数	期間中 入館人数
1	第 28 回 にいがたマンガ大賞作品展	2026 年 2 月 13 日 ～3 月 10 日	26	1,830

(5) ワークショップ

市民の創作活動支援を目的とし、2階ワークショップコーナーでは制作講座「マンガのいっぽ」を中心に「缶バッジ制作体験」「塗り絵体験」を常時展開している。今年度は特に利用者のリピーター化をテーマとし、何度来ても新鮮に感じていただけるように、既存の講座の内容再編、講座内容の丁寧な発信、告知を心掛け下記のような取り組みを行った。

講座名	内容	開催回数	参加人数	平均
マンガのいっぽスタジオ	マンガ講座講師によるマンガorイラスト制作実演＋マンガのペン体験を実施。マンガづくりのお悩みやコツなどの質問にも対応する。	172回	17名	0.10名
はじめてのコピックマーカー講座	プロのマンガ家やイラストレーターも愛用する『コピックマーカー(カラーマーカー)』を使ってぬりえに取り組む。	3回	7名	2.33名
はじめてのスピード線＆集中線講座	マンガにおいて「車が走る」「カッコいいキャラが登場する」などの際にスピード感や迫力を表現するスピード線・集中線の描き方を学ぶ。	8回	5名	0.63名
はじめてのトーン講座	マンガ原稿に貼るスクリーントーンの使い方を学ぶ。	8回	10名	1.25名
はじめてのベタぬり講座	マンガ原稿の指定された部分を黒く塗りつぶす「ベタぬり」。影や光沢などを表現するための技法を学んで表現力アップを目指す。	8回	9名	1.13名
はじめてのロゴデザイン・描き文字教室	伝えたいイメージに合わせて文字をデザインする「ロゴ」、マンガの中に音を生み出す「描き文字」。描き方の共通する基礎を学ぶ。	8回	11名	1.38名
デジタルイラスト体験会	iPadを使ったデジタルイラストソフト体験会。	8回	32名	4.00名
世界を創ろう！ かんたんストーリーメーカー！	キャラクターのカードと背景のシートを組み合わせて、ものがたりを作成する。	8回	9名	1.13名
人物の顔を作ってみよう教室	用意したパーツを組み合わせる事で、キャラクターの顔を作成する。	9回	29名	3.22名
はじめてのかんたん4コマ教室	最後の「結末」を考えるだけで、4コママンガを作成する。	8回	13名	1.63名
かんたんキャラクターメイキング教室	用意したパーツをタブレット上で組み合わせて、オリジナルキャラクターのビジュアルと設定を作成する。	7回	12名	1.71名
キャラクターデザイン講座 ～0から始める武器デザイン～	好きなものを詰め込んだ自分だけのオリジナルの剣や杖をデザインする。	8回	13名	1.63名
みんなで彩る！こいのぼり祭2025	参加者の作品で、新潟市マンガの家館内にこいのぼり祭を再現する。	4回	17名	4.25名
雨空彩る！ アンブレラスカイを作ろう！2025	空中に色とりどりの傘を吊るして作るイベント「アンブレラスカイ」を、参加者作品で再現する。	4回	7名	1.75名
暑中お見舞いイラスト作成会2025	各種画材を使用して、暑中お見舞いのイラストを作成する。	5回	38名	7.60名
みんなで作ろう！ ハロウィン百鬼夜行パレード2025	古今東西の「モンスター」にぬりえをして、参加者作品で館内にハロウィンのパレードを再現する。	5回	32名	6.40名
クリスマスカード＆年賀状イラスト 作成会2025	各種画材を使用して、クリスマスカードや年賀状のイラストを作成する。	5回	40名	8.00名
つくってあそぼう！節分 鬼マスク2026	用意したパーツをタブレット上で組み合わせて、オリジナルの鬼のお面を作成する。	4回	11名	2.75名
作っておくろう！ バレンタインカード2026	各種画材を使用して、バレンタインカードを作成する。	4回	19名	4.75名
オリジナルおひなさまメーカー2026	「おひなさま」がテーマの様々なパーツを組み合わせて、オリジナル「おひなさま」を作成する。	4回	16名	4.00名
マンガのいっぽプチセレクション	スタッフが選んだ2講座を通常よりシンプルな形で開催し、合わせて創作のお悩み相談を行う。	15回	27名	1.80名
2人で共作！キャラクターRENGA会	二人一組で、一方がキーワードを出題し、もう一方はそこからイメージしたイラストを描き、親子や友達同士でキャラクターを共作する。	1回	0名	0.00名
缶バッジ制作ワークショップ	毎日開催。オリジナルの缶バッジを作成する。	308日	2519名	8.18名
ぬり絵・ベタ塗りコーナー	素材を常設し配布。ワークショップコーナーだけでなく、自宅でも作業に取り組める。	308日	1992名	6.47名
合計			4885名	15.86名

ぬり絵素材を 88 種作成した
季節に合わせて体験素材を入れ換え提供した
全利用者からアンケートを回収しニーズを分析し、スタッフへフィードバックを共有
X で講座・ワークショップの内容と完成イメージ図を添付する形で毎回発信
新潟市公式 LINE の活用
新規講座の企画
既存講座の運営方法を再編し、教材を開発
好評を得た講座の実施回数を増やした
アウトリーチ実施校の間接的な交流を図った生徒作品展示を開催

5. 施設間連携 アウトリーチ

(1) 情報館・マンガの家独自のアウトリーチ

出張講座実施を希望する各学校、団体からの要望に積極的に応え、下記講座を実施した。

○講座名「簡単マンガ教室」

講師 1 名を派遣。デッサン法、4 コママンガ制作と共にマンガ家・アニメーターなどのお仕事を紹介し子供たちのキャリア形成に活用していただく。

○職業講話

講師の経験値・体験談を豊富に活用しマンガ・アニメの職業としての側面を紹介。将来への職業観を持つきっかけになるような内容で構成。

クラブ活動では、生徒から寄せられた技術的な悩みに応え、また希望者の作品添削、作品の提供を行った。子どもたちへのキャリア指導、進路講話といった内容の希望があった場合は、マンガ家やアニメーターの仕事内容、実現の方法なども授業内容に含んでいる。

2025 年 5 月 13 日～ 全 9 回	新潟市立根岸小学校 マンガ・イラストクラブ（4～6 年生）	4 名
2025 年 6 月 12 日～ 全 7 回	新潟市立南万代小学校 マンガ・イラストクラブ（4～6 年生）	29 名

2025 年 6 月 30 日～ 計 4 回	新潟市立阿賀小学校 マンガ・イラストクラブ	20 名
2025 年 4 月 26 日	株式会社アミカル 「キッズ本格お仕事体験」	85 名
2025 年 8 月 18 日	新潟市文化政策課 「東アジア文化都市交流事業」	18 名
2025 年 8 月 26 日	坂井東ひまわりクラブ(1～6 年生) 「かんたんマンガ教室」	81 名
2025 年 9 月 8 日	新潟市立坂井輪小学校 6 年生 「かんたんマンガ教室」	103 名
2025 年 10 月 28 日	新潟市立阿賀小学校 6 年生 職業講話	60 名
2025 年 11 月 21 日	新潟市立松浜中学校 1～3 年生 「ゲストティーチャー講座」	29 名
2025 年 12 月 11 日	新潟市立坂井輪小学校 6 年生 職業講話	45 名
2025 年 12 月 16 日	新潟市立大湊小学校 6 年生 「かんたんマンガ教室」	27 名

(2) 近隣学校見学・実習受け入れ

○「総合的な学習」でのインタビュー対応

2025 年 4 月 21 日	新潟市立中野小屋中学校 2 年生	3 名
2025 年 4 月 22 日	村上市立岩船中学校 2 年生	3 名
2025 年 9 月 12 日	新潟県立吉田特別支援学校	5 名
2025 年 10 月 2 日	新潟市立新津第五中学校	5 名
2025 年 10 月 8 日	新潟市立潟東中学校 2 年生	5 名
2025 年 10 月 31 日	新潟市立下山中学校 2 年生	3 名
2025 年 11 月 13 日	新潟市立江南特別支援学校	6 名

○「総合的な学習」での職場体験

2026 年 2 月 17 日、19 日	新潟市立白新中学校 2 年生	2 名
----------------------	----------------	-----

○臨地実務実習

2025 年 4 月 10 日～ 2026 年 1 月 30 日	開志専門職大学アニメ・マンガ学部・2 年生	10 名
2025 年 11 月 28 日	開志創造高等学校 1 年生	2 名

6. 広報活動

基本的な広報として各施設ホームページと X を中心に展開した。ホームページでは情報館であれば企画展の開催、またそれに伴ったイベントの開催を掲載し、マンガの家ではイベント講座の開催、各月講座スケジュールを掲載した。合わせてマンガの家では、地元 WEB 媒体にも協力を仰ぎ、イベント講座開催の周知を拡げた。X に関してはこのジャンルを好む層に向けて大変有効な伝達手段であるため、その反応をつぶさに分析しながら、昼夜問わず効果的なタイミングで展開した。依然として新潟では地上波 TVCM の効果が大きい中、残るポスター、チラシなどの広報手段については効率的な予算運用の観点から運用の見直しの検討を始めた。

【主な広報実績】のべ 78 媒体にて掲載

TVCM：情報館開催各企画展（各 15 秒）

TV・ラジオ中継：共催する地元 TV・ラジオ局の番組の一コーナーやニュース

タウン誌：月刊にいがた

新聞、折り込み情報紙：新潟日報、新潟情報、まるごと新潟！、週刊 Voice!(会津)

WEB サイト：

日刊にいがた WEB タウン情報、Komachi Web、&Komachi、おで Café、まいぶれにいがた、SHIKAMO、旅のしおり、他

【情報館・マンガの家ホームページPV数】

合計：443,404（前年比 97.3%）

7. 新しい施設利用への取り組み

昨年度に引き続き今年度も両館ともに施設の価値向上を狙い新しい利用の形を模索した。特に広く創作の喜びを感じていただける「学び」体験を多く実施した。

開催期間	イベント名	参加人数
2025 年 4 月 25 日～ 毎月 1 回実施	●マンガの家：みんなのデッサンラボ ※18 歳以上を条件としたデッサンクラブ。毎月第 4 金曜日に開催。18 時～20 時の開館時間延長を行い社会人の方でも参加しやすい環境を設定した。	毎月平均 10 名 クラブ登録者数 31 名
2025 年 6 月～	●情報館：新潟コンピュータ専門学校学生による共同商品開発。授業課題に「古町と団五郎」や新潟の雰囲気を取り込んだ商品を企画・デザイン・商品化・販売までを展開。学生が当館を見学取材し、新潟のマンガ・アニメの取り組みなどをレクチャー。その後学生によるデザイン案のプレゼンを当館で実施。当館監修のもと商品化し、当館ミュージアムショップで販売を開始した。	20 名
2026 年 2 月 11 日～ 15 日	●情報館：開志専門職大学アニメ・マンガ学部卒業制作展 ※新潟市と連携協定を結んでいる同学の卒業制作展を開催。約 80 名の学生作品を、企画展示室を使って展開。在校生、保護者の他、情報館常設展のお客様も多く立ち寄り、より開かれた制作展となった。	450 名

8. 自主事業利益の運営費への充当

No.	勘定科目	内 容	金額（円）
1	企画展示費用	基本協定で定める額 21,400,000 円を超える支出金額（両館）	16,680
2	その他事業費	当初予算額 189,600 円を超える支出金額（両館）	157,448
3	使用賃借料	BP 共用部（受付・倉庫面積）年間使用賃料（情報館）	726,000
4	修繕費	基本協定で定める額 100,000 円を超える支出金額（両館）	17,200
5		その他、人件費及び運営費の不足分金額（両館）	4,750,880
合 計			5,668,208

■企画展示費用

今年度の企画展示費用については、当初、基本協定で定める額（年間 2,140 万円〔内訳：情報館 2,110 万円、マンガの家 30 万円〕）により対応する計画としていた。

しかしながら、情報館における企画展示の実施にあたり、同額の範囲内では十分な対応が困難な状況であったことから、マンガの家の企画展示費用を情報館へ振り替えるとともに、マンガの家においては可能な限り費用を抑えた内容とするなど、全体の調整を行った。

■その他事業費

- ・情報館において開催した「うる星やつら展」で配布した新潟限定ノベルティ（ポストカード）の製作費
- ・マンガの家における「マンガ講座」で使用する資材一式（缶バッジ用資材、コピック本体・リンク・交換用ニブ、43 インチ液晶モニターおよびモニタースタンド）

■使用賃借料

BP 共用部の年間使用賃料については、従来どおり自主事業に係る収益から充当している。

■修繕費

情報館およびマンガの家のホームページを格納しているデータサーバーについては、経年劣化により使用不能となったため、再委託先において新たなサーバーへの入替えを実施した。

なお、サーバー本体に係る費用は再委託先の負担であるが、データ移行に要する費用（作業費）は当方負担であることから、当該費用については修繕費として計上した。

これにより、これまで使用できなくなっていた予約投稿機能等の一部機能が再び利用可能となった。

■人件費

年度当初より、人件費の年間予算額を前年度（2024 年度）の実績に比して約 300 万円増額（前年比 6.6% 増）して計上しており、不足分については自主事業に係る収益からの充当を前提としている。

なお、今年度は新潟市より人件費支援金および水光熱費支援金が支給されたことにより、運営費への充当額は当初予算と比較して約 206 万円抑制することができた。

【総括】

以上のとおり、今年度は自主事業に係る収益のうち約 52%に相当する 5,668,208 円を、両館の運営費として充当した。

9. その他

■ 県外・国外からの入館者数の把握

前年度に引き続き、県外および国外からの入館者数を把握するため、来館者に出身地をシールで貼付してもらうマップを作成し、情報館およびマンガの家の両館に設置している。

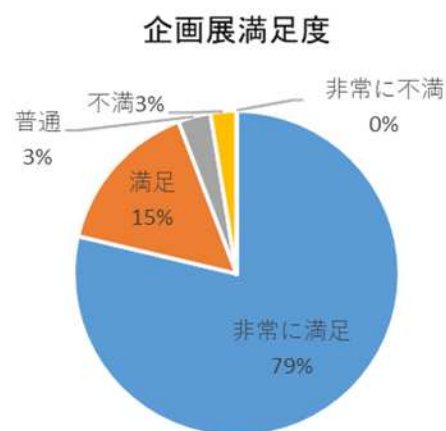
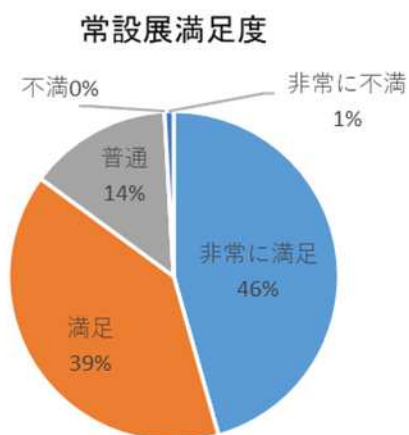
本年度においても国外からの来館者は多い状況にある。なお、これはクルーズ船の新潟港への寄港の影響により、欧米からの高齢層の来館者が増加したことも一因と考えられる。

また、情報館受付における目視による集計ではあるが、国外からの来館者数は 1,623 人（前年度 1,562 人）となり、ほぼ前年並みとなった。

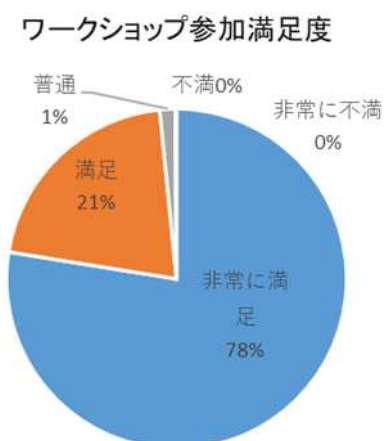


■来場者アンケートについて

【マンガ・アニメ情報館 満足度集計】



【マンガの家 ワークショップ満足度集計】



両館とも高い満足度評価を頂いているが、情報館アンケートの自由記述の欄では「常設展がいつ来ても同じ」というコメントが多かった。こちらについてはピックアップコーナーを使用した新潟作家関連情報の更新頻度を多くする、声優コーナーのコンテンツ入替りリニューアルなどで対応した。